

しとく館自立支援学習センター放課後デイ 藤代駅前教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	2	0	・日によって利用人数が違うが、自由時間と学習スペースを分けるなど工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	3	2	・利用人数に対して多目に配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1	0	・入口から室内までほぼフラットだが、引き戸の足元には少し段差がある。床の色を変えて注意を促している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	6	1	・改善を進めるための情報共有をしているが、パートの人たちとはゆっくりと話し合う時間がないので、伝え方や話し合いを工夫しようと考えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	4	0	・評価表やアンケートよりも、保護者との会話から意向などを把握するように努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	2	0	・毎年ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	7	・第三者や外部からの評価を聞く機会がめったにないため、系列事業所の職員の意見を参考にし改善できる場所を探している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	2	・あらゆる活動を通して、自他共に良かった点や悪かった点など改善していくべきと思われるものなどの話し合いや共有をする場を研修としている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3	1	・保護者のニーズと児童の課題が合っていないと思われる件が多数ありサービス計画を作成することが難しいと感じている。保護者にしっかりと伝えられるようにコミュニケーションを取っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	1	・利用契約時にアセスメントシートの記入をしてもらっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3	0	・日々の活動やイベントなどチームで話し合い、アイデアを出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	6	0	・完全な固定化はしないようにしているが、ある程度長期スパンでの活動の必要である。
適切な 支援の 提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	3	1	・平日と休日での活動には変化をつけている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	1	・集団活動が苦手でもなれることができるように少人数グループでの活動を促している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2	0	・1日の流れや役割などミーティング時に確認するようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	3	0	・支援終了後にその日おこなわれた支援を振り返り、報告事項などを共有している。

適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	・児童1人1人について正しく記録し、支援の改善につなげるようにしている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	6	0	・モニタリング後にサービス計画を立てるが、その前に課題が見つかることもある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	3	0	・基本活動をいくつか組み合わせ合わせて支援をおこなっている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2	0	・対象児童をよく理解している人が他の職員からも情報を聞き、参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1	0	・学校とは児童の下校時刻の確認やトラブルがあった際の連絡、学校での様子について情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	9	0	・主治医と直接連絡を取り合うことはないが、保護者との連絡体制を整えまた、服薬がある児童・持病がある児童への対応は確認済み。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	8	0	・事業所との情報共有はできていると思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	10	1	・放デイから直接障害福祉サービス事業所に学校卒業後に行った児童がいないので分からない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	4	0	・あまり機会がないので何とも言えないが、研修など機会があれば参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	7	・現時点では無い。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	3	0	・代表者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	2	0	・すべての保護者とは言えないが、送迎時などに状況を伝えあい共通理解していると思う。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	8	1	・保護者を集めてはおこなっていない。機会がある時に様々な対応の仕方があることを伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	3	0	・契約時に説明し、都度質問があれば対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2	0	・時間が許す限り対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	7	・個人的なやり取りを嫌う保護者もいるため全体的にはおこなっていない。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	3	0	・クレーム内容を共有し、すぐに対応策を話し合い対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1	0	・毎月1回ホームページやレターで情報発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	10	1	0	・書類などの扱いにも注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	2	0	・短い文章や箇条書きにするなど工夫はしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	5	・地域住民ではないが、ボランティアで手伝ってくれる学生などはいる。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	1	0	・対応マニュアルを作成している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	2	0	・適宜おこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	2	0	・もっと研修機会を増やしたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3	0	・計画書には記載が無かったと思う。危険な行動をとる恐れがある時にはどのように対応するか保護者に説明している。
非常時等の対応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	3	0	・指示書等を提出してもらった事例はないが、アレルギーに関しては個別に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2	1	・自分たちが経験した事例などをすぐに共有するようにしている。